

社会貢献活動

社会貢献活動方針

当社の社会貢献に関する活動方針は、まず企業としての取り組みの中で「地域社会」「社会福祉」「青少年育成」「環境保全」の4つの分野を柱に置いた活動を行っています。また、もう一つの取り組みとして、従業員が行うさまざまな社会貢献活動・ボランティア活動に対する支援・啓発にも注力しています。

社会貢献に関する活動方針

東海理化が行う企業としての社会貢献活動の企画・推進

活動分野

地域社会

地域の発展と安全安心なまちづくりに貢献

社会福祉

ユニバーサル社会をめざして貢献

青少年育成

未来社会を担う子どもたちの育成に貢献

環境保全

未来のために地球環境とのより良い関係を考えて行動

従業員が行う社会参加活動・ボランティア活動などの支援・啓発

社内献血活動

当社は毎年社内献血を実施しており、2022年度もコロナ禍の血液不足を受けて、各工場で回数を増やし夏冬の2回実施しました。(献血769名が採血)

また、骨髄バンク登録も、2003年より継続し、累計98名のドナー登録を行っています。



生物多様性活動としてオオキンケイギク駆除を実施

2022年5月には2度、大口町にて、当社と大口町まちづくり部環境対策課、トヨタ紡織(株)、リンナイ(株)との協働で、特定外来種として日本の生態系に影響を及ぼす恐れがあるオオキンケイギクの駆除活動を実施しました。



パラリンアートへの協賛

当社は、一般社団法人障がい者自立推進機構が開催する、世界中の障がいのある方々からアート作品を募集するコンテスト「パラリンアート世界大会2022」に協賛し、社内投票で選ばれた作品「みんなが輝く未来」の作者である愛媛県のアーティストNAMYさんへ2022年12月に東海理化賞を贈りました。



大口町および福島県会津若松市湊町での耕作放棄地の整備

大口町では、地域の景観を守り、地方へ新しい人の流れをつくることを目的に、大口町の耕作放棄地に「ひまわり」などの季節の花の種まきへの協力を行いました。荒れ地で見向きもされなかった場所が、地域の方々や他府県の方が写真撮影に訪れる場所に生まれ変わりました。

福島県会津若松市湊町にて、地域課題解決(集落維持、古道の復活、鳥獣対策)を目的とした活動と同時に景観整備と獣害防止のために、耕作放棄地の整備をし、ひまわりなどの花の種まきも行いました。



耕作放棄地の整備の様子

種まきの様子



耕作放棄地だった以前の風景

2022年7月ひまわり畑

大口町制60周年を記念した缶バッジを寄贈

本社のある大口町の町制60周年と近隣の扶桑町の町制70周年を記念したオリジナル缶バッジを、障がいを持つ当社従業員の協力も得ながら一つひとつ手作りし寄贈しました。

